

答

野球関係者、少年野球の関係者、保護者等から硬式対応の野球場にしてほしいという声を聞いています。現在、工事は1億4,000万円という概算が出ています。硬式化すれば、北条高校の交流試合やプロ野球等についても十分に対応できるということになれば、市内の野球人口増及び野球観戦が可能になります。当初から硬式球場でつくっておけばよかったものを、中途半端にできてしまった部分が、大きな足かせになっているように思います。今後の検討課題だと思います。

人口増対策について



黒田秀一 議員
(清風会)

問 最近、小野市で家を建てた知人に理由を聞くと、加西市の水道料金が高いこと、小野市は医療費が中学3年生まで無料との答え。市川町から水を買う、釜坂の頂上までポンプアップし、減圧して水を加西へ流す経費が多くなかかっている。

答 釜坂トンネルができれば、トンネル内部にパイプを通して無駄な経費がなくなり、市川へも行きやすくなる等、メリットが大変大きいと思う。トンネルができるよう努力していただきたい。また、中学3年生まで医療費を無料にすればいくら要るのか。任期付職員の人件費を回せば、中学3年生までの医療費が浮くのではないかと。釜坂峠にトンネルが施工できれば、更新費用、維持管理費の削減が図れると考えています。水道料金については、3年前に5%、ことし10%と、通算15%値下げします。さらに値下げを目指して、民間委託等も含めて総合的に検討し、効率経営を図りたいと思います。平成7年度に釜坂峠のトンネル化を目指して期成同盟会が設立され、要望活動を重ね、事業決定目前までこぎつけましたが、県の新行財政構造改革推進方策に基づき、当面事業着手を見合わせる位置づけがされています。市川町との交流やショッピングセンター等への入込客数も増える等、トンネル化は重要課題と考えており、要望活動は続けたいと考えています。乳

幼児子ども医療制度を中学3年生まで全額無料にした場合に、追加で約5,320万円が必要と試算しています。

子育てと教育環境の整備について



後藤千明 議員
(21政会)

問

①ファミリーサポートの利便性について、使用料の補助や実際困ったときに利用できるように時間や場所に柔軟性を持たせる考えは。

②学童保育について、賀茂小学校と富田小学校で希望者があるのに開設されなかった理由は。

③富合校区に認定こども園ができて定員が増えるが、公立幼稚園はどうなるのか。

答

①料金については、基本的には県で示された標準的な目安額を採用しています。が、長時間利用する場合に負担感があると聞きます。23年度は、市の事業に参画する市民がファミリーサポートを利用した場合の助成を検討しています。今後とも、利用者の声を聞きながら、

子育て支援の充実につながる配慮を続けたいと思います。②アンケートでは、富田も賀茂も10名を超える希望者がありました。昨年11月の募集時には、申し込みは富田1名、賀茂ゼロでした。広報の仕方等を含めて後気をつけたいと思います。③市の休園規程に基づき、来年度については存続しますが、将来的には下里等も休園となつていきますので、同じように対応したいと考えています。

地域経済と政策入札について



井上智章 議員
(新政会)

問

公民連携を進めていくためには、民が納得して公共セクターの役割を担える。信頼関係図式ロジックが必要。そのためには、災害出勤、男女共同参画、市民の雇用率、ボランティアの活動実績等を入札の加点に加えていくことが、まさにいまの市政の動きに合致するのではないかと。歯車をかみ合わせて公民連携をしていく

土壌を育てていくためには政策入札という視点を行政が取り入れていく姿勢が重要ではないか。

答

環境、障害者雇用、男女共同参画等、市としてこういうまちづくりをしたということときに協力してくれる業者を手厚くして活用するということは、通常の価格入札の制度の中においても、取り込むべきだと思っています。今後入札制度の改革の中で検討していくつもりです。非常に有効な手段であることは間違いないので、早期に実現したいと思います。

有害鳥獣被害対策について



繁田 基 議員
(公明党)

問

鳥獣被害の21年度と22年度の比較、また中国自動車道以南の被害状況は。防護柵の設置について、富田地区で4・3キロの設置を予定していることだが、他の地域から要望のある分を追